



松 濤

第42号

2018年8月吉日

発行

千葉県立一宮商業高等学校
同窓会

千葉県長生郡一宮町一宮3287
千葉県立一宮商業高等学校内
TEL 0475 (42) 4520(代)
FAX 0475 (42) 7418
<http://ichisho-dosokai.com/>

ご挨拶



同窓会長

古市 義策

六月末から始まった西日本の豪雨は記録的なもので、甚大な被害が発生しました。被災されました同窓生の皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

今年度の総会は六月十六日(土)予定通り終了し、昨年度の事業・決算報告、本年度の事業計画・予算案も無事承認されました。また、役員の任期はあと一年ですが、鶴岡副会長が一人上の都合により辞任することとなりました。後任として石川正監査が、監査の後任として土屋芳廣会計が総会で選出されました。鶴岡良二副会長には五年間にわたり大変ご尽力を賜り誠にありがとうございました。引き続き相談役としてよろしくお願い申し上げます。なお、新会計には山田八郎元事務局長にお願いすること致しました。また、事務局長は校務の関係でお世話になりました笹岡慎一先生から田中善洋先生になりましたのでご報告申し上げます。さて、母校についてですが、昨年度末

の人事異動でこれまでお世話になりました田中薫校長先生が定年によりご退職になり、県立君津商業高校長の渡部清先生が赴任されました。田中先生は同窓生ということもあり、二年間ではありましたが母校発展のために大変ご尽力を賜りました。特に文部科学省の研究指定校を目指しご努力いただきました。これまでの活躍に同窓会を代表して、心から厚く御礼申し上げます。後任の渡部先生は、教諭・教頭・校長と本校が三回目のご勤務となられ、縁の深いものを感じます。先生は商業教育に造詣が深く、全国商業校長会の理事をされるなど全国的に商業教育に貢献されており、母校発展のためお力を発揮されるものとご期待申し上げます。

次に同窓会活動の主な動きについてご報告致します。昨年の「松濤」でお知らせ致しましたように、本年度からこの松濤は基本的に会費納入者に送らせていただきます。その為に予算的に何とか収支のバランスがとれるようになっております。引き続き皆様には会費並びに賛助金の納入につきご協力賜りますようお願い申し上げます。行事については新たに母校初代校長志田鉦太郎先生記念事業を行うこととなりました。内容については現在検討しているところです。支部活動につきましては、四支部の支部長をはじめ役員の皆様のお陰で活発に

前進



校長

わたなべ
渡部 清

行っていたいております。長生支部では八月にお子様とともに地曳網を、夷隅支部では母校生徒の激励会などと新企画を進めていただいております。各支部の皆様には心から御礼申し上げます。

このたびの人事異動で、君津商業高校から四月一日に校長として着任しました渡部と申します。歴史と伝統のある一宮商業高校に勤務できることは、この上なく光栄なことと感じております。私は平成六年から十年間、この一宮商業で教諭として情報処理科の授業や情報処理技術者の国家試験・電算部のプロコンの指導を主にしていました。また、平成二十四年から三年間教頭としても勤務し、三度の勤務になります。これから前任者同様よろしくお願いいたします。

同窓会の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に御支援と御理解をいただき、心から御礼申し上げます。

現在、情報や技術は加速度的に進化し、情報化やグローバル化など社会環境は私たちの想像以上に急速に変化しております。このように激しく変化する教育環境の中で、今年度、本校は、全国八校の中に選ばれ、文部科学省の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」の指定を受けることができました。この指定は三年間であり、社会の変化や産業の動

今後とも同窓会として、会員の親睦と母校発展のための協力を続けて参りたいと存じますので会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するために、実践研究を行います。本校のテーマは、『高校生DMO』の活動を核とした地域観光ビジネス教育プログラムの開発です。二年後には、「一宮町釣ヶ崎海岸においてサーフィンのオリンピックが開催されます。そのことも取り入れながら、研究開発を進めたいと考えております。三年間の予算は、約千三百万円で、教育施設としては、校内をFREEEWiFiにし、iPadを使った授業展開を考えています。機会あるごとに同窓会の皆様には、この取り組みについて報告します。

昨年度、運動部では、男子卓球部・女子バスケットボール部が関東大会に出場しました。公立高校からの出場は並大抵の努力では出場できません。文化部では電算部が全国大会に、ビジネス研究部が関東大会に出場しました。また、全商協会主催プログラミングコンテストでは最優秀賞(全国優勝)をしました。今年度も昨年度に負けないよう頑張らせます。

今後とも、同窓会の皆様方の期待に沿うよう、職員一丸となって、さらに邁進する所存ですので、今後とも御支援・御協力をお願い申し上げます。

※DMOとは、行政や地域との連携を軸にしながら外房地域の多様な関係者を巻き込み、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う組織のことである。

人生の基礎を 学んだ母校



前校長
田中 薫

私事ですが三月末日をもちまして定年退職いたしました。昭和五十一年に一宮商を卒業し、昭和六十三年から教員として七年前に校長として再勤務しました。三度目の母校でしたが、その度に遅く変貌を遂げる姿を頼もしく感じました。これも、同窓会の皆様と先生方のご指導の賜物と深く感謝いたします。

教員人生を顧みると、良き先輩、同僚、生徒に恵まれたことに感謝するばかりです。幸せな教員人生だったと思います。初任校は、やんちゃな生徒が多かった鶴舞商業高校でしたが、様々なことを生徒から学びました。今でも「先生、先生」と慕ってくれる卒業生に接すると、成長させてもらったのは自分の方だと気づかされます。

その時々には人生の節目がありました。鶴舞商業高校では結婚、一宮商業高校では子育てと仕事の両立、東金商業高校では教務主任と学年主任、千葉商業高校では定時制課程の生徒との触れ合いなど。千葉黎明高校での公私立人事交流の経験、市立習志野高校では教頭として全国通達連絡協議会の開催と定時制の閉課程、君津商業高校では校長として産業教育フェアの開催、一宮商業高校では東京五輪サマー大会支援やSPH申請など、実に

楽しく充実した日々でした。全国商業高等学校校長協会と財団法人全国商業高等学校協会の仕事も増えて忙しくなりましたが、全国の校長と情報交換ができたことは、その後の学校経営に大変役立ちました。この年になって思うことがあります。

それは頼まれた仕事は、まずは引き受けてみようということです。自分のところにきた意味や意義を考え、いやな仕事・難しい仕事も、何とか好きに変えて（好きと思うようにして）、自分なりに工夫して取り組む大切さです。それが社会に出てから、自信となり財産となりました。また、困っている人に対して、思いやりの心や優しい心で接することの大切さも実感しました。このような生きる力を育ててくれた基礎は、母校の一宮商だと思っています。

いま生徒諸君は、一宮商に学んでいる誇りと自信を心に刻みながら、伝統をしっかりと受け継ぎ、さらに母校の価値を高めています。頼もしい限りです。また、教職員も教育改革のときを迎えて、一宮商としてのあるべき姿を真摯に追求し、大きな自信で乗り越えようとしています。母校はこれからも時代を画する学校となるために、常にチャレンジし続けることと確信しています。

最後になりましたが一宮商業高校の益々のご繁栄と教職員・生徒諸君のご活躍、そして同窓会の皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



一宮商業

着任の御挨拶



教頭
井上 修一

この四月より、本校に赴任いたしました井上と申します。同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動に対しまして、多大なる御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私はこれまで、普通高校・農業高校・工業高校・定時制高校・中学校など、多くの校種を経験して参りました。本校で七校目となりますが、商業高校は初めての勤務となります。

本校はこれまで、「自治・責任・創造」の校訓のもと、地域や社会との繋がりを重視し、人間性豊かで高度な知識・技能を身につけた人材の育成に取り組んでおります。現在の社会は、産業の構造的変化、複雑な国際関係、多方面での格差拡大など先の見えない状況もあります。しかし、どんな社会になるとしても、社会で求められる人材を育てることが本校の教育の基本であります。

今年度は、オリンピック・パラリンピック推進教育や、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定など、新たな取り組みも行うこととなります。本校で学んだ生徒たちが、これからの時代を逞しく切り開いていける力を身につけるために、同窓会の皆様には今後とも一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

一宮商業の

3年間を振り返って



前教頭
布施 彰次

3年間で一番感じたのは、ほかの地域の高等学校と比べて一宮商業高校と地域との関係は非常に深いと感じました。一宮町に唯一の高等学校としての存在感は大きかったと思います。

その大きな特徴として「ボランティア活動」があげられます。多くの生徒たちが積極的に参加することで地域からの信頼を築いていると思います。

ボランティア活動等に参加することで生徒たちは教室で学ぶ以上のことを体験することができ、他者との協同や他者を理解する豊かな心の育成にも役立っていることと思います。

これらの活動が地域住民等から認められ、地域になくはならない存在となっていると思います。

2年後にはオリンピックサッカーワールドカップの会場として一宮町の名前が世界に流れることとなります。また、会場地にある一宮商業高校の生徒はより多くの場面でも多くのことを体験できる機会がすぐ目の前にあると思います。地域で活躍されている一宮商業高校卒業生の皆様方も在校生と共に思い出に残る体験に参加し後輩たちの活躍ぶりを見ていただければと思います。

支部報告

第20回記念総会を終えて

茂原支部幹事長 岡部 昌夫 (昭和51年度卒)

お疲れ様です。茂原支部の岡部でございます。日頃より支部活動に對しまして多大なるご理解とお力添えを賜りまして、誠にありがとうございます。この紙面をお借り致しまして心より厚く御礼申し上げます。



さて、我が茂原支部も昨年10月開催の支部総会をもちまして、記念すべき20周年を迎える事ができました。これも偏に設立にご尽力された沢山の諸先輩方、歴代役員の皆様方のお蔭と、心より敬意を表する次第です。なお、当日は70名を超える同窓生の皆様にご参加頂き、各自(各社)の近況報告は勿論の事、各位の若かりし頃の思い出話を花を咲かせておりました。ご参加された皆様、本当にありがとうございました。また、20周年記念という事もあり各テーブルに「舟盛り」をご用意したり、参加者全員の手土産に「紅白饅頭」をお配りしましたが、何れも地元(茂原)で頑張っている同窓生が経営するお店からの提供という事で、同窓生のご活躍の一端をご披露できたのではないかと考えております。

今年も別掲の通り開催させて頂きまして、沢山の皆様のご参加をお待ち申し上げております。宜しくお願い致します。因みに写真は総会終了後に撮影されたものです。参加された方全員は無理でしたが、出席者の約3分の1の方々が残って下さいました。

最後になりましたが、「自治」「責任」「創造」の校訓のもと、日々頑張っている母校生徒諸君のご活躍を、支部としても全力で支えて参る所存でございます。その為にも、これまで以上の支部間交流の実施とその為の強い絆が必要だと感じしております。皆様様の一層のご理解と更なるお力添えをお願いして、結びと致します。頑張れ一商生!

長生支部だより

長生支部長 吉野 昇 (昭和43年度卒)

去る、6月2日に、一宮館に於いて第9回長生支部総会が、同窓会長はじめ、学校長、首都圏支部、茂原支部、夷隅支部の各支部長様及び会員の皆様方に参加頂きまして、開催いたしました。

長生支部の構成は、一宮町、睦沢町、長生村、白子町在住の卒業生が主な会員ですが、支部の存在を全く知らないという方が沢山いると思えます。これを打開するには、広報や口コミで知ってもらうこと。そして各事業を地道にやり遂げることに一番だと思えます。

その事業の一つとして、昨年から実施しています「納涼地曳綱大会」を一宮海岸で行います。開催日は8月5日(日)です。この行事は一宮町の観光地曳綱に便乗するもので、母校関係者だけでなく、一般の方も一緒に綱を引くことになりました。従いまして、大変混雑が予想されるので、お早めに来場下さい。また、駐車場の確保は支部としては、用意できませんので、海岸の有料駐車場または、無料の海岸広場駐車場をご利用ください。開催場所は、一宮町役場から海に向かって下った右側です。

地曳綱開催時間は10時からですが早めの準備をお願いいたします。懇親会は、地曳綱終了後、概ね11時半前後から地曳小屋で行います。

申込みはFAX0475(42)7418へ住所、参加者氏名を送付して下さい。もう一点は、母校の初代校長の志田紳太郎博士に関する事業です。

内容については今後、支部内部で十分な時間を

かけまして、今年度末か、来年度に向けて企画を考えたいと思っております。

終わりに長生支部では他の支部と比較して女性の会員数が少ないので、是非ご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

夷隅支部だより

夷隅支部長 高瀬 利之 (昭和42年度卒)

夷隅支部では、昨年の十一月十九日に母校の部活動参観を実施致しました。整備されたグラウンドでは野球部が練習試合、体育館ではバスケットボール部女子が練習試合でした。各部共動きも良く熱気に満ちておりました。また、サッカー部・女子ソフトテニス部は、技術習得の練習中でありながら、私達を迎えてくれました。参加者は、久しぶりに母校の部活動を見て、部員全員が真剣な気持ちで、生き生きと活動し、活気に満ちている姿にとても感動し元気をいただきました。剣道部は、館山での関東大会県予選では、部員の少ない中で精一杯健闘しておりました。

今年度も一人でも多くの会員を募って、母校に足を伸ばしていきたいと思っております。運動部だけでなく文化部も参観し交流を深めていきたいです。

平成30年度 夷隅支部総会の案内

【日時】平成30年10月20日(土) 午後6時より
【場所】割烹 藤与し (国道128号沿い) TEL 0470-63-0616
【会費】5,000円
【問い合わせ先】幹事・会計: 土屋 元 090-1439-1334
お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

首都圏支部だより

事務局長 吉田 理和 (昭和54年度卒)

平成29年度首都圏支部総会(第二回)は平成29年10月14日、大河ドラマ『西郷どん』の主人公西郷隆盛公の銅像があります、上野公園で開催いたしました。

当日はJR上野駅に集合、世界遺産に登録された国立西洋美術館にてクロード・モネの「睡蓮」をはじめとする、素晴らしい洋画を鑑賞しました。(写真はロダン作 カレーの市民前) 鑑賞後、総会の会場であります上野公園内の有名上海料理店(旦那楼)に移動して、第二回首都圏支部総会を開始、来賓として、古市同窓会長様、田中校長先生、茂原長生各支部の役員様の出席を賜りました。古市同窓会長からは、同窓会の動向、田中校長先生からは母校の近況並びに東京オリンピックサーフィン会場が釣ヶ崎海岸で開催。母校の取組などの話を頂き、母校の生徒の活躍に関心いたしました。



総会終了後、いよいよお待ちかねの、昼食会、懇親会、カラオケ大会で親睦を図りました。あの先輩の美声、この後輩の音痴なリズム、また、あの名(迷)司会者。初めてカラオケ大会に参加した私は一商心意気にビックリいたしました。ともあれ、和やかなうちに会も終盤、校歌斉唱にてお開きとなりました。終了後希望者にて旧岩崎邸園を見学し無事に終了することができました。来賓の方々をはじめ、遠くから参加いただいた方、毎回参加していただく方々全員の皆様に感謝いたしますとともに、次回以降も首都圏支部総会のご参加をお待ちいたしております。

次回開催ご案内

【日時】平成30年10月13日(土) 午前9時30分 JR船橋駅(北口)集合
サッポロビール千葉工場見学 → レストラン『Hiro』昼食・総会 → 京成バラ園見学 → JR船橋駅(16時)
【会費】7,000円
サッポロビールで出来たてのビールを飲み、八千代の洋食レストラン『Hiro』(オーナーは一商OB)で美味しい洋食、日本一の品種が咲き誇る「京成バラ園」で優雅なひと時を

同期会だより

母校が原点です

近藤 有弘 (昭和30年度卒)



■昭和二十八年四月に母校は現校名の千葉県立一宮商業高等学校となり、その第一期入学生の我々同期生一六〇名は純情可憐な少年少女だった。私は一宮中学校出身なので子供の頃から親しんだ一宮実業学校が県立の商業高校になると言うので、家の事情で親の勧めで受験した。それまでは農業教育もしていたので、一年生四クラスは、元の豚小屋を改装した教室という有様だった。県立高校になったことからか、或いは『自治・責任・創造』の校訓からか、授業は厳しく、二年生、三年生に進級できない仲間も居て、卒業時は一四二名となり、一割強が落第生となった。

■昭和三十一年三月に卒業してからもう六十二年余も経ち、我々の同期生は皆八十歳又は八十一歳で、皆翁媪の晩歳を愛でる歳となった。働き盛りの時期から途絶えていた同期会、皆現役を卒業した様なので再開しようと言うことで、平成二十年春に再開し、もう十年だ。今年も五月八日にホテル一宮シーサイドオーツカで開催し、旧交を温め語り合い、人生を振り返る歳となったことを祝い、楽しんだ。

■昭和三十一年は就職難の時代であったが、卒業時の就職先に東証一部上場会社に就職した者も幾人か居て、中には役員迄登り詰めた同期も居たが、何と一つも誇りとすべきは糸日谷義男氏だろう。長者町(現いすみ市)出身の彼は千葉市役所職員から千葉市議会議員を八期三十有余年、その間に市議会議長を務めあげた功績により、平成二十五年春の叙勲で旭日中綬章を受章したことを、皆でお祝いしたことである。我々の誉れであり、喜びでもある。また我々の同期には、母校の初代校長志田鉦太郎博士の初孫佐藤(旧姓志田)素子さんも居り、実に多彩である。

■扱、毎年末の喪中葉書は年々その数を増やして

届くようになり、また音信不通の仲間もあり、年々顔を見せる数が減ってきていることが、寂しくもあり悩みでもある。再開した当時は皆七十歳前後で四十名ほど集まってくれたのが、今年は写真の通り十二名となり、去年は元気な顔を見せてくれたのに、というのが我々同期会の実態だ。同期のある女性が曰く「今日集まったのは生き残りかい」と大声で冗談を飛ばす元気な人も居る。

■最近の母校の大学進学率は年々向上と聞き嬉し限りだが、我々の時代は殆どが母校を最終学歴としている。私もその一人である。誰しも世の中に出れば世間の分厚い壁にぶつかると、そこで学歴が実力を発揮できれば良いが、そうでなければ学歴は宝の持ち腐れだ。後輩の皆さん、最終学歴に加え、誰にも侵されない教養を身に付け、世の中に良い足跡を残して下さい。

全員出席？ 原点回帰

土屋 元 (昭和41年度卒)

爽やかに晴れた6月9日、久しぶりに同級生会を母校がある一宮町のシーサイドオーツカホテルに於いて開催いたしました。

70才を迎え古希を祝う会とした。卒業アルバムからクラス毎のパネルを作成し、個人名札は18才当時の顔写真付き名札も作成、卒業生当時の気分を味わっていただく演出をいたしました。

幹事一同何度も会議を重ねて一人でも多くの学友の参加を呼びかけました結果、写真参加全員、実物参加45名、ご逝去者32名でした。

催し物として、シルバー川柳大会、ビンゴゲーム、一商母校クイズ等を実施し大いに盛り上がり盛会の内に旧交を温めました。

閉会后二次会の催し物として今回の企画は原点回帰として母校訪問を実施、31名の参加をいただ



きました。52年ぶりに訪れる方が多く皆目を輝かせて母校を眺めていました。

笹岡先生より資料を基に詳細なる母校の現状と後輩の活躍報告説明をいただき有意義な時間を過ごし皆満足の様子でありました。

母校を見学させていただく中で、元気な後輩から気持ちが良い挨拶を受け若々しい純情な頃の原点を回帰させていただき、大変貴重な母校訪問の同期会でありました。

平成30年3月卒業同期会の報告

佐久間 豊 (平成2年度卒)

平成29年11月3日13時過ぎ。
おおよそ20年ぶりに上総一宮駅の改札を出ますと、そこには懐かしい、恩師と旧友たちの笑顔の輪が広がっております。

私たちが平成30年3月の卒業生は、幹事の皆さん熱意のおかげで5年おきに同窓会を開催し再会の機会に恵まれております。毎回様々な趣向で楽しませていただいておりますが、今回は一宮駅から母校を訪ね松濤軒で懇親会という企画です。この日は在校中の学生生活を思い返しつつ郷愁を満喫することになります。

かつての通学路を友人たちと歩き、玉前神社でお参りしてから正門をくぐりますと、変わらない蘇鉄と一商魂の「自治・創造・責任」の石碑が迎えてくれました。

集合写真を撮影したあと、当時校長を務められていた田中先生のご案内により校内を見学させていただくことができました。教室は懐かしい面影を残しつつも、今は在校生たちの高校生活の舞台となっておりましたが、この日はやはり当時のエピソードや近況について私たちの賑やかな話りの場です。私は地元を離れて久しいのですが、気づかずに思っているほど近くに友人が暮らしていることに驚きましたし、遠方から参加している友人も多数いることを知り各地で活躍する同期生と一緒に過ごせた母校を誇らしく思いました。

さて、その後の松濤軒では、懇親会から参加された方も交えて大いに盛り上がりました。卒業してから30年近くも経ちます。ひとりひとりに見覚えがあるものの、記憶の中の高校生との印象と今の姿にギャップがあるのは当然ですが、変わらぬ生き活きとした表情を見ることができたのが嬉し

かったです。
お昼から続いた同期会も再会を約束してあつという間にお開きとなりました。

家路についてから、そういえば2020年の東京オリンピックのサーフィン会場が一宮町の釣ヶ崎海岸に決定しているというのに、誰ともその話をしなかったことを思い出しました。私たちの次の再会は2023年の予定ですが、一宮町が世界的に注目を浴びるこのタイミングが今回の同期会を思い返す良いきっかけになりそうです。

最後に、お世話になりました石井毅先生、田中薫先生、渡辺貴先生、林明美先生にお会いすることができ元気なお姿を拝見することができました。また幹事の皆さんには、多忙のところにもかかわらず滞りなく進めていただきありがとうございます。同窓生の皆様をはじめ改めてお世話になりました方々へ感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。



定期総会のご案内

一宮商業高等学校同窓会会長 古市義策

下記のとおり定期総会を開催します。

記

日時 2019年6月15日(土) 15時より

場所 母校会議室

議題 2018年度事業及び決算報告
2019年度事業及び予算について

※ 総会終了後、懇親会を開催します。(会費5,000円)
当日、校舎を背景に集合写真を撮影します。

田中校長
産業教育功労賞受賞
祝賀会

平成30年3月25日(日)松濤軒で、「田中薫校長先生産業教育功労賞受賞を祝う会」が開催されました。田中薫先生は昭和51年に母校を卒業されたのち、昭和56年4月より県立鶴舞商業高校へ着任し教員生活をスタートされました。昭和63年4月母校の教員として転任、7年間にわたり母校で教鞭を執られたあと、平成7年4月より千葉県立東金商業高校、平成19年4月より千葉県立千葉商業高校定時制、教頭として習志野市立習志野高校定時制、千葉県立君津商業の校長を経て、平成28年4月にふたたび母校の校長として着任し活躍された、われらが母校に永きに亘って深く関わり功績を残していただいた方です。



今回受賞された御下賜金記念産業教育功労者表彰は国公立の専門高等学校の教職員で永年にわたり産業教育の振興に特に顕著な功労のあった方を対象に公益財団法人産業教育振興中央会から贈られるものです。まさにこれまでの田中先生の功績が広く認められ讃えられたもので、母校同窓会ではこれをお祝いして、古市義策会長を筆頭に副会長・各支部代表列席のもと祝賀会を催しました。当日はPTAからは会長・副会長の石井省三さん、秋場初永さんに駆けつけていただき、田中先生のごこれまでのご指導に御礼するともに受賞をお祝いして、盛大に執り行われました。

田中薫先生は本年3月に母校校長職を最後にくれでたく定年退職を迎えられました。ご定年後も教育界に残られ、さらに後進の指導育成にあたられるとのことですので、さらなるご活躍とご健康であられることを心から祈り申し上げます。

第6回 同窓会ゴルフ大会について



今年も同窓会総会前日に開催された恒例となりました大会も6回目を数えました。心配された雨も梅雨の時期としては仕方ない程度状況でした。今年も44年卒業の選手が10人でご参加頂き、和気あいあい楽しくプレーしていました。今回は開催直前に数名の選手が、仕事や、体調不良でキャンセルが出ましたが、総勢で34人の戦いとなりました。その中で栄えある優勝者は一宮町在住の、森田一範さん(昭和42年3月卒)が初めての栄冠に輝きました。

主な成績は次のとおりでした。(クロス)

Table with 2 columns: Rank (優勝, 準優勝, 第3位, ベス・グロ) and Winner Name (森田一範, 諸岡勝, 神代キヨ, 田中光男) and Score (82ストローク, 81ストローク, 91ストローク, 78ストローク)

来年の総会が6月15日土曜日です。前日の14日金曜日に一宮CCです。各学年でのWコンベンなどの企画も大歓迎です。沢山の参加者をお待ちいたします。

- 幹事: 吉野 昇 (昭和44年3月卒) 連絡 090-2527-4191; 田邊 武司 (昭和56年3月卒) 連絡 090-4434-3722

平成29年度 一宮商業高等学校同窓会 収支決算書

平成29年度一宮商業高等学校同窓会収支決算についてつぎの通り報告します。

Table showing financial summary: 積立金(定期預金報告) with items 1-4 and amounts; 定期預金内訳 with items 1-2 and amounts.

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

◎ 収入の部

Table with 7 columns: 科目, 予算額, 補正額, 計, 収入済額, 増減, 附記. Rows include 入会金, 維持会費, 賛助金, 預金利息, 雑収入, 繰越金, and 合計.

◎ 支出の部

Table with 7 columns: 科目, 予算額, 流用・増資額, 計, 支出済額, 増減, 附記. Rows include 総会費, 会議費, 接待費, 旅費, 通信費, 業務委託費, 消耗品費, 負担金, 補助金, 事業費, 事務費, 積立金, 支部費, 雑費, 予備費, 繰越金, and 合計.

監査報告 平成29年度同窓会会計を監査した結果、帳簿及び証憑類ともに正確に処理され適正であることを認めます。

平成30年5月10日

一宮商業高等学校同窓会長 様

一宮商業高等学校同窓会 監査 石川 正 海老根正明

平成30年度 一宮商業高等学校同窓会事業内容

平成30年度一宮商業高等学校同窓会事業について次のとおり提案いたします。

平成30年 6月16日

月	日	事業内容
4	8	入学式 入学許可163名(商業科・情報処理科)
	13	母校職員歓迎会(会長出席)
	28	編集委員会
5	10	平成29年度会計監査
	19	常任幹事会・幹事会(母校会議室)
	25	新会員に対して、総会案内はがき発送
6	2	長生支部総会(一宮館)
	15	同窓会ゴルフコンペ (一宮カントリークラブ)
	16	定期総会(母校会議室) 野球部後援会 IT委員会
8	5	長生支部納涼会 志田鉦太郎先生記念事業
10	13	首都圏支部総会 (京成バラ園 サッポロビール千葉工場)
		夷隅支部総会(藤与し)
		茂原支部総会(大和屋旅館)
2		本部役員会
3	6	同窓会入会式 158名
	7	卒業証書授与式 商業科 第71回 117名 情報処理科 第46回 41名

他 IT委員会 編集委員会 松濤発行

IT委員会活動報告

IT委員長 久我 昌文(昭和57年度卒業)

IT委員会は2012年に発足して同窓会ホームページを使った同窓会からの情報発信を主な役割としてきました。初代の委員長を土屋芳廣さんが務められて同窓会のホームページを独自ドメインとして立ち上げして同窓会からのお知らせ、会報誌「松濤」の掲載、イベントの記事などを掲載してきました。現在は委員のメンバーも変わり新しい体制で運営していますが、ホームページでの情報の公開が遅いことが最大の課題だと認識しており、この改善に向けて取り組んでまいります。具体的には母校電算部とのコラボレーションによりホームページの更新を委託しようと検討中です。部活動の一環として社会との繋がりを持ってもらうことにより更新によるアクセス数の増加など仕事の成果を実体験してもらい喜びを感じてもらえる機会に考えています。また今後は同窓会からの一方通行の情報発信だけでなく、同窓会と会員の情報交換や会員同士の情報交換などをホームページだけに限らずソーシャルメディアネットワークを活用するなど委員会でも検討中です。世代や距離を越えた同窓会活動を支援できるように委員一同活動して行きます。

平成30年度 同窓会賛助金一覧

金額	氏名(順不同)
50,000円	土屋 貴治
10,000円	古市 義策 寺島 和平 平野 久寿 正林 宏平
8,000円	磯野 智子 森 静枝 土屋 征雄 中台 晴美 田中 孝 岩瀬 誠之
4,000円	江原 弘芳
3,000円	大多和孝則 金綱 久夫 関 博 今関佐枝子 村上 律子 小安 和夫 米倉 重作 齋藤 信夫 今井 春夫 齋藤蒼生子 中社福次郎 柄 喜美子 石川 省三 齋藤 亘弘 高原 滋之 正木 清 柴田 勲 田中 國男 米本 郁徳 石田 洋子 山口 精一 鶴岡 良二 吉田かず子 田中 登 吉野 昇 板倉 庫二 滝口 諭 土屋 芳廣 海老根正明 岡部 昌夫 矢代 淳子 室井 力
2,000円	寺嶋登志雄 大石 昌子 藤見 榮子 加藤 俊夫 高島洋二郎 鈴木 利男 吉野 明 森 豊巳
1,000円	大野 正明 加藤 キミ 小山 和男 大森 和夫 吉田 利男 岩佐 俊雄 矢部 禮三 野村 進 諸岡 勝 山田 八郎 佐藤 俊幸 牧野 英士 向後 孝憲 山田 一寿 山田 祐大 丸 ゆう子

部活動

電算部

全商パソコン最優秀賞

顧問 藤井 裕久

全国商業高等学校校長協会主催の第三十八回全商プログラミングコンテストにおいて十三年ぶりに最優秀賞を受賞しました。

電算部は、創立四十七年目となる伝統ある部活動です。全国商業高等学校校長協会主催のプログラミングコンテスト三十九年連続入賞をはじめ、各種競技大会での全国大会出場、地域イベントの参加やパソコン講座の実施など多岐にわたり活動を行っています。

活動内容は、「情喜源(じょうきげん)」という教訓を掲げ、部活動で得た知識や技術を活かし「情報」の力で人々を喜ばすことのできる「源」となるよう、我々のプログラム作品を使用した人が上機嫌になるにはを常に考え、プログラム制作とデモスキャッションを繰り返し行っています。

最優秀賞を受賞した作品「案ケトル」は、現代のビジネスパーソンに直面する問題の原因究明や具体的な方策の考案などに生かせるよう、時間やかけないでアンケートを実施し、その集計や分析を自動でスマートフォンから簡単に行える、既存のアプリに無いデータ分析機能などの機能を備えた作品を作成しました。また、同じく電算部で制作した「つぶやきロケーション」が最優秀賞に次いで優秀賞を受賞することができました。

電算部員は、このコンテストに向けて一年間放課後遅くまで制作に取り組み、長期休みの合宿なども利用し本当に集中して作品作りができたと思います。それも、電算部一同を支えてくださった商業関係者の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。



部活動

男子卓球部

関東大会報告

顧問 鈴木 俊昭

本校男子卓球部は平成二十九年十一月十一日、十二日に東京アリーナで行われた千葉県高等学校新人卓球大会で第五位になり、関東高等学校新人卓球大会に出場することが出来ました。

関東大会の初日は公式練習会と開会式で、入場行進では緊張の面持ちながら、千葉県の代表として立派に行進しました。二日目からの試合で、初戦は埼玉県の春日部高校でした。一番の井上選手(岬中)が逆転で勝利し、二番で渡辺選手(大原中)が緊張で力を発揮出来なく負けてしまいました。三番のダブルスで井上・窪田(勝浦中)組が接戦の末敗れてしまいました。四番の窪田選手が勝利し、五番の滝口選手(富士見中)に託されましたが負けてしまい、惜しくも敗戦スタートとなってしまいました。第二戦は群馬県の前橋高校との試合では、二番に秋場選手(白里中)が出場しましたが、二本先取されてしまいました。しかし、三番のダブルスと四番をとり、ラストの渡辺選手に託されました。接戦を演じましたが惜しくも敗れてしまいました。三日目には栃木県の青藍泰斗高校との試合で吉野選手(御宿中)が出場しましたが一本も取れずに敗れてしまいました。予選リーグで敗退してしまいましたが、持てる力を発揮しようと十分戦ってくれました。

今回このような機会を得ることが出来たのも後援会の方を始め、先生方、保護者、卒業生、地域の方の応援や支えがあったからだと思います。これからも生徒達には応援旗の「願生る」(がんばる)に恥じない行動と精神を養ってほしいと思っています。



生徒商業研究発表大会 関東大会出場

3年『課題研究』ビジネス研究班
担当 田中 善洋

3年『課題研究』ビジネス研究班は、生徒商業研究発表大会千葉県大会12連覇を達成し、9月18日に茨城県南生涯学習センターで開催された関東地区生徒商業研究発表大会に出場し、優秀賞を受賞しました。

生徒商業研究発表大会とは、商業に関する研究を30ページ以内のレポートにまとめ、スライドを使い12分間で活動のプレゼンテーションを行う大会です。本校は、昨年度からは、一宮町が東京五輪サーフィン種目の会場招致に動いている事を知り、実現した際には大会を地域が一体となって盛り上げることが必要であると感じ、商業での学びを生かした活動ができないかと考え研究をスタートしました。研究テーマは『シビックプライド向上計画』地域とともに 波乗り一宮〜』で平成28年度の先輩から引き継ぎ、東京五輪の会場に決定したことを受けよりサーフィンのプロモーション活動を強め、町内を盛り上げようと考え実践しました。『シビックプライド』とは『郷土愛』を越えた『町をよりよくしていくために自ら関わっていく』という『地域に対する当事者意識』のことで、サーフィン競技のプロモーション活動に取り組むことで、地域の方にサーフィン競技への興味心を持ってもらうことで、2020年には地域が一体となって大会を盛り上げられるようにしたいと考え、そのためのイベントを企画し取り組みました。

5月13日に一宮G.S.S体育館にて本校吹奏楽部と東金商業高校吹奏楽部で海や五輪をテーマにした曲を演奏するコンサートを行いました。その中で、町内在住のプロサーフィン選手の稲葉玲王プロと田中英義プロに会場いただきトークショーをしていただきました。この取り組みは、東京新聞と千葉日報にも取り上げられました。

【企画①】波乗り一宮コンサート

5月27日にサーフィンの国際大会を町内の小中学生と一緒に取材し、その原稿をもとにPR誌なみのれたるを制作しました。女子の部で優勝した川合美乃里選手に取材することができ、特集を組みました。2,500部制作し、町内の回覧板で配布したほか、町内の小中学校生徒・職員全員に配布し、町内のお店にも置いていただきました。この取り組みは、東京新聞と読売新聞に取り上げられました。

【企画②】PR誌なみのれたる制作

来場者参加型イベントを実施することで、当事者意識を高めたいと考え、釣ヶ崎海岸と海外の海を虹でつなぐ絵を町内在住のアーティストの野口大介様に協力いただき、町内のイベントのフェアーマーケットとサーフィンの国際大会で実施しました。1,280名に協力いただき、大会会場では海外選手や大会運営者等からサインもいただきました。この取り組みは、東京新聞で取り上げられました。



【企画③】彩れ波乗りフラッグ制作

来場者参加型イベントを実施することで、当事者意識を高めたいと考え、釣ヶ崎海岸と海外の海を虹でつなぐ絵を町内在住のアーティストの野口大介様に協力いただき、町内のイベントのフェアーマーケットとサーフィンの国際大会で実施しました。1,280名に協力いただき、大会会場では海外選手や大会運営者等からサインもいただきました。この取り組みは、東京新聞で取り上げられました。



平成29年度 進路状況

進路指導主事 江澤 武人

本校の進路状況は就職が66人、進学が90人、その他1人、割合は就職が42%、進学が57%、その他1%でした。全体の割合はここ数年大きな変化はありません。また、職種別で見ますと約半数の生徒が事務的な仕事に就きました。今年度の希望調査でも半数以上が事務職を希望しています。公務員については合格者が千葉県職員に1名と厳しい状況でした。今年度は、昨年度同様に月1回の公務員講座と新たに毎月、自宅学習用の教材を配布し、合格率が上がるような取り組みをしています。

卒業生の進路実績については毎年ほぼ同じようなことを書いておりましたが、他校と比べても就職に關してはかかなり恵まれています。多くの求人を見ただき就職を決定しています。これも先輩のみなさまが各方面で、ご活躍のおかげだと思っております。また、生徒もその期待に応えるようにしっかりと働いてくれるものと期待しています。

大学進学については、指定校推薦とAO入試による進学が大半です。学部別ではビジネスや情報系の学部を中心に福祉系、体育系へも進学しています。短大進学者は保育関係が多くなっています。専門学校については様々な分野にわたって進学しています。

本校の生徒は伝統に支えられてしっかりと生活態度で学校生活を送っています。欠席や遅刻が少ないうえに資格取得や部活動によく取り組んでいることが就職や進学に影響しているようです。進路のことでご不明なことがありましたら進路指導部まで連絡をいただきたいと思います。

【主な就職先】

JFEスチール、いすみ農業協同組合、片岡工業、関歯科医院、ちばぎん証券、ヤマト運輸、伊勢化学工業、塩田記念病院、塩田病院、亀田総合病院、ナガホリ、日立物産、関東天然瓦斯、山崎製パン、千葉石油、千葉日産、沢井製薬、銚子信用金庫、長生農業協同組合、東京地下鉄、東日本旅客鉄道、日宝化学、日本合成化工、日本天然ガス、日本郵便、房総信用組合

【主な進学先】

敬愛大学、淑徳大学、千葉商科大学、亜細亜大学、東京情報大学、千葉工業大学、城西国際大学、國學院大学、駒澤大学、国士館大学、日本女子体育大学、日

本大学、武蔵野大学、千葉明德短期大学、千葉経済大学短期大学部、昭和学院短期大学、千葉敬愛短期大学
大原簿記公務員専門学校、亀田医療技術専門学校、国際理工情報デザイン専門学校、専門学校千葉デザイン学院、千葉こども専門学校、千葉医療秘書専門学校、千葉県立農業大学校、千葉市青葉看護専門学校、千葉医療福祉専門学校、東京IT会計法律専門学校、東洋理美容美容専門学校、日本外国語専門学校、船橋情報ビジネス専門学校、千葉県歌舞看護専門学校

SPHの事業内容

商業科主任 末永 敬一

この度、文部科学省より三年間の予定でスーパープロフェッショナル・ハイスクール(SPH)の指定を受けることになりました。研究開発課題は、「高校生版DMO」の活動を核とした地域観光ビジネス教育プログラムの開発になります。内容としては、教科「商業」の学びを通し、地域観光活性化のために活躍することのできる専門的職業人を育成するために、どのような教育プログラムが有効か、という点について、一宮町を中心とした外房地域の観光活性化に向けた取り組みを通じて明らかにすることです。具体的には、『DMO』、『観光コンテンツ』、『国際交流』、『観光マーケティング』、『観光・地域ビジネス』の五つの分野に重点を置き、生徒が地域との連携を軸にしながら外房地域の多様な関係者と協働して、科学的アプローチを取り入れた観光地域作りを行う組織(高校生版DMO)を主体的に運営する過程をとおして、専門的職業人を育成することを目指しています。

今年度は一年目ということもあり、高校生版DMOについての理解とともに、地域観光ビジネスの基礎的知識や、外国語を通じてコミュニケーション力、情報活用能力など、ビジネスに関する専門的知識・技術を習得するとともに、地域観光の実状を理解することができる力を養成していくと考えています。

平成30年度職員の異動

平成29年度末の人事異動で、11名の先生方がご退職、5名の先生方がご転任されました。また、昨年度途中採用を含め、16名の先生方をお迎えしましたので、ここに紹介します。(順不同)

	氏名	教科	
退職	田中 薫	校長	千葉県立成田西陵高等学校
	大平 源治	地歴公民	千葉県立成東高等学校
	露崎 成実	外国語	千葉県立大原高等学校
	浅野 正史	商業	千葉県立千葉商業高等学校
	佐藤 優太	商業	習志野市立習志野高等学校
	秦 清彦	国語	
	篠崎 文彦	数学	
	米倉 一英	理科	
	弓能家雅宣	保健体育	
	谷川 弘治	保健体育	
転出	鎗田美津代	商業	
	布施 彰次	教頭	千葉県立君津商業高等学校 校長
	清水 浩憲	国語	千葉県立安房高等学校
	鈴木 陽一	国語	千葉県立館山総合高等学校 教頭
	渡邊 則行	商業	千葉県立東金高等学校
	安藤 美香	事務	千葉県立茂原高等学校
	渡部 清	校長	千葉県立君津商業高等学校
	井上 修一	教頭	千葉県立大原高等学校
	麻生 計子	国語	千葉県立東金高等学校
	鈴木 孝志	国語	千葉県立茂原高等学校
転入	森川由季子	国語	新採用
	白石 勲	国語	再任用
	長谷川良雄	数学	千葉県立東金高等学校
	田中 善宏	保健体育	千葉県立大原高等学校
	加藤眞理子	保健体育	千葉県立松尾高等学校
	酒井 宣浩	外国語	千葉県立大多喜高等学校
	川上 有正	外国語	千葉県立一宮商業高等学校 (昨年度途中任用)
	田中 衡	商業	千葉県立東金商業高等学校
	橋本 秀哉	商業	千葉県立沼南高等学校
	末永 敬一	商業	千葉県立千葉大宮高等学校
	鈴木 朝枝	商業	新採用
	和田 千穂	事務	千葉県立東金高等学校

一商野球部後援会報告

一商野球部後援会副会長 石川 正 (昭和40年度卒)

母校野球部は、速水圭太郎監督・丸島卓也部長のもと、部員56名(マネージャー6人含) 日々の練習や試合に打ち込んでいます。

今年もコーチとして、中村稔氏(元読売巨人軍投手)とトレナーとして氏家鉄心氏(元青森山田高校で指導)の指導を受けています。野球技術の向上はもとより、選手の体力や運動能力、精神力等各方面での実力アップがはかられています。母校、一商グラウンドに足を運んでみませんか。部員も励みになります。

後援会としては、母校野球部がますます発展し実績を残すために、全力をあげ応援してまいりたいと考えています。

つきましては、一緒に応援していただける方を募集しています。詳細は野球部後援会事務局(雀岡)や野球部後援会役員にお問い合わせください。年会費は5千円です。

野球部OB会より

野球部OB会会長 長谷川洋一 (昭和52年度卒)

同窓会の皆様には、日頃より野球部OB会活動にご協力、ご支援を賜りありがとうございます。昨年十一月二十三日の野球部OB会ゴルフコンペでは、台風のような豪雨の中八十七名様のご参加を頂き、一宮カントリー倶楽部にて無事開催できましたこと、深く感謝いたします。

悪天候の中ご参加頂いた皆様の熱いハートを感しました。集まりましたチャリティー募金は野球部OB会費と併せ七月七日に一宮シーサイドオーツカで行う『夏の選手権野球部壮行会』にてお渡しいたします。今年も第一〇〇回大会ということで七月十一日に開幕する大会では一六三チームが参加、東西二チームが甲子園に行ける記念大会となります。我が野球部は部員数五十六名を擁し、七月十四日長生の森球場第二試合が初戦となります。野球部OBはもちろん、同窓会の皆様にも、お誘い合わせの上、応援参加よろしくお願ひ申し上げます。

ソフトテニス部OBとOB会より

稲子 泰幸 (平成4年度卒)

一宮商業同窓会に於かれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。本「松濤」にて母校の近況報告を毎号、楽しみに拝読させていただいています。今回、掲載の依頼をいただきましたので、活動状況等について、ご報告させていただきます。

初めに、男子顧問の日暮先生及び女子顧問の山崎先生、またOBであり、元国体選手でもある外部コーチの鈴木友成氏には日頃より、ソフトテニス部員の指導、技術強化に時間を割きご尽力賜っていることに厚くお礼申し上げます。現ソフトテニス部は、男子1年6名、2年5名、3年3名、女子1年5名、2年5名、3年4名の男女各14名と少数ながら一生懸命に練習し、技術力向上に励んでいると伺いました。先日、全国総合体育大会千葉県大会を観戦いたしました。残念な結果でしたが、次につながる戦いだつたと感じています。山崎先生は、本校ソフトテニス部出身であり、高校時代は千葉県を代表する選手でしたので、更なる選手育成に期待しています。

さて、ソフトテニス部OB会は、光山浩之会長、江澤一行会計を中心として、多くのOBの方々に支えられながら活動しています。ソフトテニス部は、過去インターハイ女子団体ベスト4、男子団体・個人ベスト8等数多くの輝かしい成績を残してきています。

平成30年度 同窓会総会報告

平成30年6月16日(土)に例年通り母校を会場として開催しました。今年度は27名の方々に御参加いただき、平成29年度の事業報告と収支報告、30年度の事業予定と予算案について、そして30年度役員についての協議案が話し合われました。この日は、総会の開催前に、「野球部後援会総会」、「IT委員会も実施しましたので、複数の会議に参加された役員の方もおられました。

この総会は、毎年6月第3土曜日に実施することが決まっています。次年度も、2019年6月15日(土)に母校を会場として実施致します。元号が平成から新元号に変更されることを機会として、これまで遠慮されていた方も知り合の仲間と連絡いただき御参加いただきたいと思ひます。

事務局

ています。好成绩を残している時代は、OBが学校へ訪問し、選手と一緒に練習していました。現在は、時間の関係もありOBがコートに行けない状況ですので、インターハイや関東大会に出場する選手一人ひとりに、ユニホーム、シューズ等を手渡す活動を行っています。今後は、OBと選手との交流も含め、顧問の先生方と更なる連携を図って参りたいと考えています。OBの方々の御参加よろしくお願ひいたします。私は、千葉県ソフトテニス競技団体強化の成年男子コーチを8年間務めており、その中で全日本監督とともに3年間活動させて頂きました。和歌山国体準優勝等の成績を残していますので、微力ながらバックアップができればと考えています。

これらの成績は、高校時代に顧問の先生や良き仲間、OBの方々に恵まれ、部活動を通じて、努力することの大切さ、仲間を信じる心、チームワークの大切さ、感謝の心、己を磨き、自負を持つこと等多くのことを学んだ結果だと感じています。最初のペンギン、という言葉があります。「海に捕食者が待ち受けているかもしれないのに最初に飛び込むペンギンは挑戦者である」という意味です。何事も常にチャレンジ精神を持ち、最後まで諦めず努力することが成功への第一歩ではないでしょうか。

集記 編後

今年度より、同窓会会報である「松濤」が同窓生全員発送の形式から、発送人数を絞った形式に変更されました。送り続けてもらいたいという意見が多く、同窓会の活動費にも影響する部分が大きくやむなくこの形式をとることになりました。今後は、会費を納入いただいた方、卒業より5年内の新会員、役員の名を挙げ負っていた方、会に大きな功績を与えていただいた方ということになりましたが、母校にご連絡いただければお渡し出来る体制になっておりますので、遠慮なく学校内の同窓会事務局にご連絡いただきたいと思ひます。編集を行う立場から見ますと、作成に關わった作品が多くなるの目には触れることは作っているうえで大きな励みとなります。皆様の周囲でこの会報を手に入れたという同窓生がおりましたら連絡紹介のほどよろしくお願ひいたします。

事務局